

## 研究室における新型コロナウイルス感染症対策のガイドライン (若松キャンパス、対象期間：2022年10月17日～)

### ■基本的事項について

- ・ 研究活動や授業出席などを目的とした学生は、指導教員の指示に従って入構すること。
- ・ 入構する学生は本学及び本研究科の以下のサイトに記載されている内容に留意すること。  
<https://www.kyutech.ac.jp/covid-19/>  
<https://www.lsse.kyutech.ac.jp/covid-19/>
- ・ 会食中にマスクをはずして会話をすることが感染原因となるケースが多いので、食事中は会話をしないように特に注意すること。

### ■研究室への立ち入りについて

- ・ 入構する学生及び教員は自宅で検温により体調確認を行う。
- ・ 3密を避けてフィジカルディスタンス（できるだけ2 m、最低でも1 m以上）の確保を心掛ける。
- ・ 定期的な換気など適切な感染予防対策（下記参照）を十分に施す。
- ・ 学生は目的以外の行動を慎み、研究活動等の目的が終了した後に速やかに帰宅する。
- ・ 深夜に及ぶ研究活動を控え、十分な睡眠時間を確保する。
- ・ 他キャンパスに入構する場合には、各キャンパスのガイドラインに従う。

### ■感染予防対策について

- ・ 30分に1回程度の頻度で、数分間、窓を開けて換気を行う。可能であれば、ドアや窓を開けて換気しながら研究活動を行う。
- ・ 部屋内に二酸化炭素濃度計が設置されている場合には、濃度が1,000 ppmを越えないように換気を行う。
- ・ 湿度に留意し、40%未満の場合には加湿するように努める。
- ・ 対面配置での着席を避ける。
- ・ 対面での着席が避けられない場合や、隣席との距離を十分に確保できない場合には、パーティションなどを設置する。
- ・ 近距離での会話や大声での発声を行わない。
- ・ 飛沫感染対策のために、マスクを着用し、咳エチケットを守る。なお、室内に一人で居る場合や、屋外で単独で作業を行う場合などは、マスクを着用する必要はない。室内に複数人が居る場合には、お互いが離れていてもマスクを着用する。

- ・接触感染対策のために、こまめに手洗いやアルコール消毒を行う。また、手で触れる共用部分の消毒に努める。
- ・昼食時などマスクを外す必要がある場合には、会話をしない、人と距離をとる、対面に座らないなどの対策を行う。
- ・クラスター発生のリスクが高い長時間（2時間以上）・大人数（5人以上）の飲み会を自粛する。